

表1 雇用確保措置の実施状況

(社、%)

	①実施済み		②未実施		合計(①+②)	
21人以上 総計	1,217	(1,246)	0	(0)	1,217	(1,246)
	100.0%	100.0%	0.0%	(0.0%)	100.0%	(100.0%)
	847	(888)	0	(0)	847	(888)
	100.0%	100.0%	0.0%	(0.0%)	100.0%	(100.0%)
21～300人	1,157	(1,186)	0	(0)	1,157	(1,186)
	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	100.0%	(100.0%)
	370	(358)	0	(0)	370	(358)
	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	100.0%	(100.0%)
	787	(828)	0	(0)	787	(828)
	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	100.0%	(100.0%)
301人以上	60	(60)	0	(0)	60	(60)
	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)	100.0%	(100.0%)

※ ()内は、令和6年6月1日現在の数値。以下、各表において同様。
※ 本集計は原則小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳の積み上げが合計と一致しない場合がある。以下、各表において同様。

表2 雇用確保措置の規模別・産業別実施状況

(%)

		①実施済企業割合		②未実施企業割合	
規模別	合 計	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	21～30人	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	31～50人	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	51～100人	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	101～300人	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	301～500人	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	501～1,000人	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	1,001人以上	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
産業別		21人以上		31人以上	
	合 計	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	農、林、漁業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	鉱業、採石業、砂利採取業	100.0%	(100.0%)	0.0%	(0.0%)
	建設業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	製造業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	情報通信業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	運輸、郵便業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	卸売業、小売業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	金融業、保険業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	不動産業、物品賃貸業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	学術研究、専門・技術サービス業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	宿泊業、飲食サービス業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	生活関連サービス業、娯楽業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	教育、学習支援業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	医療、福祉	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	複合サービス事業	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	サービス業(他に分類されないもの)	100.0%	(100.0%)	100.0%	(100.0%)
	その他	0.0%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)

※ 0.0%は報告企業が存在しなかった項目である。

表3－1 雇用確保措置実施企業における措置内容の内訳

(社、%)

	①定年制の廃止		②定年の引上げ		③継続雇用制度の導入		合計(①+②+③)	
21人以上総計	55	(52)	399	(367)	763	(827)	1,217	(1,246)
	4.5%	(4.2%)	32.8%	(29.5%)	62.7%	(66.4%)	100.0%	(100.0%)
31人以上総計	31	(29)	254	(234)	562	(625)	847	(888)
	3.7%	(3.3%)	30.0%	(26.4%)	66.4%	(70.4%)	100.0%	(100.0%)
21～300人	55	(52)	380	(354)	722	(780)	1,157	(1,186)
	4.8%	(4.4%)	32.8%	(29.8%)	62.4%	(65.8%)	100.0%	(100.0%)
21～30人	24	(23)	145	(133)	201	(202)	370	(358)
	6.5%	(6.4%)	39.2%	(37.2%)	54.3%	(56.4%)	100.0%	(100.0%)
31～300人	31	(29)	235	(221)	521	(578)	787	(828)
	3.9%	(3.5%)	29.9%	(26.7%)	66.2%	(69.8%)	100.0%	(100.0%)
301人以上	0	0	19	(13)	41	(47)	60	(60)
	0.0%	(0.0%)	31.7%	(21.7%)	68.3%	(78.3%)	100.0%	(100.0%)

※「合計」のうち企業数は、表1の「①実施済み」に対応している。
※「②定年の引上げ」は、定年年齢を65歳以上としている企業を、「③継続雇用制度の導入」は、定年年齢は65歳未満だが継続雇用制度の上限年齢を65歳以上としている企業を、それぞれ計上している。

表3－2 雇用確保措置における継続雇用先の内訳

(社、%)

	自社以外の継続雇用先がある企業									合計 (①～⑦)
	① 自社のみ	② 自社、子会社 等	③ 自社、関連 会社等	④ 自社、子会社 等、関連会社等	⑤ 子会社等	⑥ 子会社等、 関連会社等	⑦ 関連会社等	小計 (②～⑦)		
21人以上 総計	731 (781)	12 (17)	13 (14)	5 (14)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	32 (46)	763 (827)	
	95.8% (94.4%)	1.6% (2.1%)	1.7% (1.7%)	0.7% (1.7%)	0.1% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.1% (0.1%)	4.2% (5.6%)	100.0% (100.0%)	
	31人以上 総計	536 (584)	9 (16)	10 (12)	5 (12)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	26 (41)	562 (625)
		95.4% (93.4%)	1.6% (2.6%)	1.8% (1.9%)	0.9% (1.9%)	0.2% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.2% (0.2%)	4.6% (6.6%)	100.0% (100.0%)
21～300人	696 (741)	9 (14)	12 (13)	3 (11)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	26 (39)	722 (780)	
	96.4% (95.0%)	1.2% (1.8%)	1.7% (1.7%)	0.4% (1.4%)	0.1% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.1% (0.1%)	3.6% (5.0%)	100.0% (100.0%)	
	21～30人	195 (197)	3 (1)	3 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (5)	201 (202)
		97.0% (97.5%)	1.5% (0.5%)	1.5% (1.0%)	0.0% (1.0%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	3.0% (2.5%)	100.0% (100.0%)
	31～300人	501 (544)	6 (13)	9 (11)	3 (9)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	20 (34)	521 (578)
		96.2% (94.1%)	1.2% (2.2%)	1.7% (1.9%)	0.6% (1.6%)	0.2% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.2% (0.2%)	3.8% (5.9%)	100.0% (100.0%)
301人以上	35 (40)	3 (3)	1 (1)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (7)	41 (47)	
	85.4% (85.1%)	7.3% (6.4%)	2.4% (2.1%)	4.9% (6.4%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	14.6% (14.9%)	100.0% (100.0%)	

※「合計」のうち企業数は、表3－1の「③継続雇用制度の導入」に対応している。

表4－1 70歳までの就業確保措置の実施状況

(社、%)

	①70歳までの就業確保措置実施済み						②未実施		合計 (①+②)						
		定年制の廃止	定年の引上げ	継続雇用制度 の導入	創業支援等措置の 導入										
21人以上総計	473	(443)	55	(52)	39	(40)	378	(350)	1	(1)	744	(803)	1,217	(1,246)	
	38.9%	(35.6%)	4.5%	(4.2%)	3.2%	(3.2%)	31.1%	(28.1%)	0.1%	(0.1%)	61.1%	(64.4%)	100.0%	(100.0%)	
	31人以上総計	322	(299)	31	(29)	20	(20)	270	(249)	1	(1)	525	(589)	847	(888)
		38.0%	(33.7%)	3.7%	(3.3%)	2.4%	(2.3%)	31.9%	(28.0%)	0.1%	(0.1%)	62.0%	(66.3%)	100.0%	(100.0%)
21～300人	444	(418)	55	(52)	39	(40)	349	(325)	1	(1)	713	(768)	1,157	(1,186)	
	38.4%	(35.2%)	4.8%	(4.4%)	3.4%	(3.4%)	30.2%	(27.4%)	0.1%	(0.1%)	61.6%	(64.8%)	100.0%	(100.0%)	
	21～30人	151	(144)	24	(23)	19	(20)	108	(101)	0	(0)	219	(214)	370	(358)
		40.8%	(40.2%)	6.5%	(6.4%)	5.1%	(5.6%)	29.2%	(28.2%)	0.0%	(0.0%)	59.2%	(59.8%)	100.0%	(100.0%)
	31～300人	293	(274)	31	(29)	20	(20)	241	(224)	1	(1)	494	(554)	787	(828)
		37.2%	(33.1%)	3.9%	(3.5%)	2.5%	(2.4%)	30.6%	(27.1%)	0.1%	(0.1%)	62.8%	(66.9%)	100.0%	(100.0%)
301人以上	29	(25)	0	(0)	0	(0)	29	(25)	0	(0)	31	(35)	60	(60)	
	48.3%	(41.7%)	0.0%	(0.0%)	0.0%	(0.0%)	48.3%	(41.7%)	0.0%	(0.0%)	51.7%	(58.3%)	100.0%	(100.0%)	

※「①70歳までの就業確保措置実施済み」のうち、「定年の引上げ」は70歳以上の定年の定めを設けている企業を、「継続雇用制度の導入」は定年年齢は70歳未満だが継続雇用制度の上限年齢を70歳以上としている企業を、「創業支援等措置の導入」は定年年齢及び継続雇用制度の上限年齢は70歳未満だが創業支援等措置の上限年齢を70歳以上としている企業を、それぞれ計上している。

表4－2 70歳までの就業確保措置の規模別・産業別実施状況

(%)

		①実施済企業割合				②未実施企業割合											
規模別	合 計	38.9%		(35.6%)		61.1%		(64.4%)									
	21～30人	40.8%		(40.2%)		59.2%		(59.8%)									
	31～50人	40.8%		(35.3%)		59.2%		(64.7%)									
	51～100人	34.1%		(32.0%)		65.9%		(68.0%)									
	101～300人	35.2%		(30.5%)		64.8%		(69.5%)									
	301～500人	48.5%		(33.3%)		51.5%		(66.7%)									
	501～1,000人	40.0%		(40.0%)		60.0%		(60.0%)									
	1,001人以上	58.3%		(66.7%)		41.7%		(33.3%)									
産業別		21人以上		31人以上		21人以上		31人以上									
	合 計	38.9%		(35.6%)		38.0%		(33.7%)		61.1%		(64.4%)		62.0%		(66.3%)	
	農、林、漁業	33.3%		(25.9%)		33.3%		(37.5%)		66.7%		(74.1%)		66.7%		(62.5%)	
	鉱業、採石業、砂利採取業	66.7%		(100.0%)		0.0%		(0.0%)		33.3%		(0.0%)		0.0%		(0.0%)	
	建設業	50.0%		(46.1%)		49.1%		(39.1%)		50.0%		(53.9%)		50.9%		(60.9%)	
	製造業	34.5%		(28.9%)		31.7%		(26.5%)		65.5%		(71.1%)		68.3%		(73.5%)	
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%		(0.0%)		0.0%		(0.0%)		100.0%		(100.0%)		100.0%		(100.0%)	
	情報通信業	22.2%		(20.0%)		26.7%		(23.5%)		77.8%		(80.0%)		73.3%		(76.5%)	
	運輸、郵便業	43.4%		(42.1%)		44.7%		(35.4%)		56.6%		(57.9%)		55.3%		(64.6%)	
	卸売業、小売業	27.1%		(27.9%)		23.9%		(22.5%)		72.9%		(72.1%)		76.1%		(77.5%)	
	金融業、保険業	50.0%		(46.2%)		44.4%		(40.0%)		50.0%		(53.8%)		55.6%		(60.0%)	
	不動産業、物品賃貸業	44.4%		(22.2%)		40.0%		(14.3%)		55.6%		(77.8%)		60.0%		(85.7%)	
	学術研究、専門・技術サービス業	38.2%		(36.4%)		40.9%		(35.0%)		61.8%		(63.6%)		59.1%		(65.0%)	
	宿泊業、飲食サービス業	51.6%		(40.0%)		47.4%		(29.2%)		48.4%		(60.0%)		52.6%		(70.8%)	
	生活関連サービス業、娯楽業	43.5%		(33.3%)		43.8%		(35.3%)		56.5%		(66.7%)		56.3%		(64.7%)	
	教育、学習支援業	33.3%		(32.6%)		30.8%		(33.3%)		66.7%		(67.4%)		69.2%		(66.7%)	
	医療、福祉	43.2%		(39.5%)		45.7%		(41.7%)		56.8%		(60.5%)		54.3%		(58.3%)	
	複合サービス事業	16.7%		(0.0%)		0.0%		(0.0%)		83.3%		(100.0%)		100.0%		(100.0%)	
	サービス業(他に分類されないもの)	45.2%		(46.5%)		46.7%		(47.3%)		54.8%		(53.5%)		53.3%		(52.7%)	
	その他	0.0%		(0.0%)		0.0%		(0.0%)		0.0%		(0.0%)		0.0%		(0.0%)	

※ 0.0%は報告企業が存在しなかった項目である。

表5 企業における定年制の状況

(社、%)

	定年制の廃止	定年制あり						65歳以上定年合計 (定年制の廃止を含む)	報告した全ての企業	
		60歳未満	60歳	61歳～64歳	65歳	66～69歳	70歳以上			
21人以上 総計	55 (52)	0 (0)	722 (793)	41 (34)	331 (302)	29 (25)	39 (40)	454 (419)	1,217 (1,246)	
	4.5% (4.2%)	0.0% (0.0%)	59.3% (63.6%)	3.4% (2.7%)	27.2% (24.2%)	2.4% (2.0%)	3.2% (3.2%)	37.3% (33.6%)	100.0% (100.0%)	
31人以上 総計	31 (29)	0 (0)	530 (597)	32 (28)	221 (199)	13 (15)	20 (20)	285 (263)	847 (888)	
	3.7% (3.3%)	0.0% (0.0%)	62.6% (67.2%)	3.8% (3.2%)	26.1% (22.4%)	1.5% (1.7%)	2.4% (2.3%)	33.6% (29.6%)	100.0% (100.0%)	
21～300人	55 (52)	0 (0)	686 (750)	36 (30)	312 (289)	29 (25)	39 (40)	435 (406)	1,157 (1,186)	
	4.8% (4.4%)	0.0% (0.0%)	59.3% (63.2%)	3.1% (2.5%)	27.0% (24.4%)	2.5% (2.1%)	3.4% (3.4%)	37.6% (34.2%)	100.0% (100.0%)	
	21～30人	24 (23)	0 (0)	192 (196)	9 (6)	110 (103)	16 (10)	19 (20)	169 (156)	370 (358)
		6.5% (6.4%)	0.0% (0.0%)	51.9% (54.7%)	2.4% (1.7%)	29.7% (28.8%)	4.3% (2.8%)	5.1% (5.6%)	45.7% (43.6%)	100.0% (100.0%)
	31～300人	31 (29)	0 (0)	494 (554)	27 (24)	202 (186)	13 (15)	20 (20)	266 (250)	787 (828)
		3.9% (3.5%)	0.0% (0.0%)	62.8% (66.9%)	3.4% (2.9%)	25.7% (22.5%)	1.7% (1.8%)	2.5% (2.4%)	33.8% (30.2%)	100.0% (100.0%)
301人以上	0 (0)	0 (0)	36 (43)	5 (4)	19 (13)	0 (0)	0 (0)	19 (13)	60 (60)	
	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	60.0% (71.7%)	8.3% (6.7%)	31.7% (21.7%)	0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	31.7% (21.7%)	100.0% (100.0%)	

※「65歳以上定年」の企業数は、表3－1の「①定年制の廃止」と「②定年の引上げ」を合計した数値に対応している。
※「報告した全ての企業」の企業数は、表1の「合計」に対応している。

表6 経過措置適用企業における令和6年6月1日から令和7年3月31日までの基準適用年齢到達者の状況

	企業数 (社)	基準を適用できる年 齢に到達した者の 総数 (人)	経過措置適用企業における令和6年6月1日から令和7年3月31日までの基準適用年齢到達者の状況					
			継続雇用終了者数 (継続雇用の更新を希望しない者)		継続雇用者数 (基準に該当し引き続き継続雇用さ れた者)		継続雇用終了者数 (基準に該当しない者)	
経過措置適用企業で基準適用年齢到達者(64歳) がいた企業	19	43	0	0.0%	43	100.0%	0	0.0%
うち女性	11	21	0	0.0%	21	100.0%	0	0.0%

※ 本集計は、令和6年6月1日から令和7年3月31日までに経過措置を適用していた企業において基準適用年齢(64歳)に到達した者について集計している。

表7 都道府県別の状況

(社、%)

	報告した 全ての企業		雇用確保措置 実施済企業割合		70歳までの 就業確保措置 実施済企業割合	
北海道	9,403	(9,329)	99.9%	(99.9%)	41.6%	(38.9%)
青森	2,449	(2,533)	99.8%	(100.0%)	44.8%	(41.2%)
岩手	2,436	(2,482)	99.8%	(100.0%)	45.0%	(42.2%)
宮城	3,793	(3,748)	99.5%	(99.9%)	40.8%	(38.4%)
秋田	1,970	(2,024)	100.0%	(100.0%)	39.7%	(34.9%)
山形	2,226	(2,277)	100.0%	(100.0%)	40.4%	(36.2%)
福島	3,562	(3,599)	99.8%	(99.9%)	41.4%	(37.3%)
茨城	4,150	(4,258)	99.9%	(99.9%)	41.3%	(37.6%)
栃木	3,398	(3,389)	99.9%	(99.9%)	39.8%	(35.2%)
群馬	4,043	(4,072)	100.0%	(100.0%)	35.7%	(34.0%)
埼玉	8,626	(8,523)	99.9%	(99.9%)	38.9%	(36.7%)
千葉	7,046	(6,922)	100.0%	(99.9%)	41.6%	(38.5%)
東京	42,325	(41,365)	99.9%	(99.9%)	27.8%	(25.2%)
神奈川	11,258	(11,145)	99.9%	(99.9%)	32.2%	(29.9%)
新潟	4,490	(4,568)	99.8%	(100.0%)	31.0%	(28.1%)
富山	2,434	(2,453)	100.0%	(100.0%)	29.4%	(26.0%)
石川	2,538	(2,556)	99.8%	(99.9%)	34.1%	(31.7%)
福井	1,877	(1,851)	99.9%	(100.0%)	39.0%	(34.3%)
山梨	1,552	(1,541)	99.8%	(99.7%)	32.5%	(30.0%)
長野	4,107	(4,010)	99.9%	(99.9%)	39.4%	(36.2%)
岐阜	4,022	(4,037)	100.0%	(100.0%)	38.8%	(35.9%)
静岡	7,016	(7,113)	99.8%	(99.8%)	34.9%	(32.6%)
愛知	14,324	(14,164)	100.0%	(100.0%)	35.5%	(32.6%)
三重	3,121	(3,150)	100.0%	(100.0%)	39.4%	(36.0%)
滋賀	2,203	(2,205)	99.6%	(99.9%)	35.0%	(31.9%)
京都	4,525	(4,530)	99.8%	(99.9%)	29.4%	(26.3%)
大阪	18,836	(18,753)	99.9%	(99.9%)	30.7%	(28.1%)
兵庫	8,051	(7,993)	99.8%	(99.8%)	31.1%	(28.8%)
奈良	1,625	(1,623)	100.0%	(100.0%)	36.9%	(36.9%)
和歌山	1,604	(1,644)	100.0%	(99.7%)	34.1%	(31.4%)
鳥取	1,105	(1,124)	100.0%	(99.8%)	34.7%	(30.6%)
島根	1,401	(1,414)	99.8%	(99.9%)	47.0%	(44.6%)
岡山	3,617	(3,581)	99.9%	(99.9%)	38.2%	(34.2%)
広島	5,370	(5,468)	99.5%	(99.9%)	32.2%	(29.1%)
山口	2,424	(2,432)	99.9%	(100.0%)	35.9%	(32.2%)
徳島	1,217	(1,246)	100.0%	(100.0%)	38.9%	(35.6%)
香川	2,028	(2,081)	99.9%	(100.0%)	40.6%	(37.6%)
愛媛	2,642	(2,653)	99.6%	(99.9%)	36.8%	(32.9%)
高知	1,370	(1,377)	99.5%	(100.0%)	34.8%	(31.5%)
福岡	9,573	(9,611)	99.9%	(99.9%)	35.4%	(32.5%)
佐賀	1,682	(1,694)	99.3%	(99.9%)	40.8%	(39.0%)
長崎	2,566	(2,604)	99.4%	(99.8%)	32.6%	(28.3%)
熊本	3,336	(3,331)	99.4%	(99.9%)	34.8%	(31.0%)
大分	2,229	(2,259)	100.0%	(100.0%)	45.7%	(41.8%)
宮崎	2,209	(2,240)	99.9%	(99.9%)	39.0%	(35.3%)
鹿児島	3,022	(3,108)	99.8%	(99.9%)	44.3%	(39.9%)
沖縄	2,938	(2,972)	99.5%	(99.7%)	33.8%	(29.2%)
全国計	237,739	(237,052)	99.9%	(99.9%)	34.8%	(31.9%)

※ 本集計は、原則小数点第2位以下を四捨五入しているが、本表の「雇用確保措置実施済企業割合」については、小数点第2位以下を四捨五入することで100%となる場合は、小数点第2位以下を切り捨てとしている。

※ 「70歳までの就業確保措置実施済企業割合」の全国計は表4-1の「①70歳までの就業確保措置実施済み」に対応している。